

**平成28年度
事業計画書**

社会福祉法人 小山市社会福祉協議会

目 次

基本方針	1
------	---

1. 地域福祉の意識づくり・ひとづくり

1-1. 地域福祉について知ろう・参加しよう	2
------------------------	---

1. 広報活動事業 **強化**
2. 小山市社会福祉大会の開催
3. 「ふくし」の標語コンクール事業
4. 市民リフレッシュ講座事業

1-2. 福祉の心を育もう	3
---------------	---

5. 福祉用具貸出し・講師派遣事業
6. 福祉教育協力校補助事業
7. 小学生(親子)サマーボランティアスクール事業
8. 中学生・高校生サマーボランティアスクール事業

1-3. 地域福祉活動を実践しよう	3
-------------------	---

9. ボランティア養成講座事業
10. おやまお助け隊(個人ボランティア)事業 **強化**
11. 社協ボランティアセンターの運営

2. 地域で支え合うしくみづくり

2-1. 支え合える地域をつくろう	4
-------------------	---

12. コミュニティソーシャルワーク推進事業 **強化**
13. 地区社会福祉協議会の設立・活動支援 **強化**
14. 生活支援体制整備事業 **新規**

2-2. 地域のつながり・交流の場を広げよう	5
------------------------	---

15. おもちゃ図書館の開館
16. 児童遊び場整備事業
17. 高齢者生きがい講座・サークル事業
18. ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業

2-3. 必要な人に情報や支援をつなげよう	6
-----------------------	---

19. 心配ごと相談事業
20. 暮らしのなんでも相談の実施
21. 生活福祉資金貸付事業
22. 緊急生活一時資金貸付事業
23. 緊急食料等支援事業 **強化**
24. どんぐり基金子育て応援事業
25. 低所得世帯入学児童支援事業

26.	歳末見舞金配布事業	
27.	災害見舞金支給事業	
28.	認可外保育施設助成事業	
29.	ひとり親家庭支援事業	
30.	視覚障がい者への「声の広報」の発行	
31.	こども発達支援センター「たんぼぼ園」 児童発達支援事業	
32.	こども発達支援センター「たんぼぼ園」 放課後等デイサービス事業	新規
33.	相談支援事業所「さくら」事業	
34.	日常生活自立支援事業（あすてらす おやま）	
35.	成年後見制度利用支援事業	
36.	市民後見推進事業	
37.	基幹型/高齢者サポートセンター小山総合の運営	強化
38.	ホームヘルプサービス事業	
39.	在宅介護支援センター事業	
40.	在宅ねたきり老人等紙おむつ券給付事業	
41.	大切な家族のための「やさしい介護教室」事業	
42.	善意銀行の運営	
2-4.	協働の輪を広げよう	10
43.	社協会員会費募集	
44.	共同募金運動の推進	
45.	どんぐり基金(地域福祉振興基金)の造成	

3. 安全で安心して暮らせるまちづくり

3-1.	誰もが住みやすいまちをつくろう	11
46.	車椅子・車椅子移送車貸出事業	
47.	生活支援ボランティア等の充実	新規
3-2.	災害時に助け合えるまちをつくろう	12
48.	災害ボランティア活動推進事業	強化

4. 地域に根づいた法人の運営

4-1.	責任ある法人運営	12
49.	理事会、評議員会、委員会の開催	
50.	内部事務の充実	
4-2.	法人運営・事業推進体制の強化	13
51.	発展・強化プラン推進委員会の開催	
その他		13
52.	日本赤十字社事業	

平成28年度 基本方針

少子高齢社会の急速な進展、核家族化による家族形態の変容、人口減少社会の到来、雇用形態の変化や格差社会の進行など、地域社会を取り巻く環境は著しく変化し、私たちの抱える課題は複雑・多様化しています。

地域のつながりが希薄化するなか、地域からの孤立がまねく孤立死や児童虐待等の悲劇、子どもや高齢者の貧困をはじめとする生活困窮問題など、これまでのセーフティネットのほころびを埋める新たな施策の展開が急務となっております。

この様ななか、近年の福祉施策は、これまで分野ごとに整備してきた公的福祉サービスの充実を図りながら、地域を基盤とした新たな支え合い（互助）の領域を拡大・強化し、公的機関と住民とが協働で推進する「地域福祉」への期待が一層高まっています。

平成27年度は、小山市が「第3期 小山市地域福祉計画」を策定するのに合わせて、「第3期 小山市地域福祉活動計画」を策定いたしました。

平成28年度は、その初年度として、計画内容のPR・周知に努め、地域で支え合うための基盤づくり、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けるための生活支援や福祉サービスの充実を図り、小山市の地域福祉推進の中核機関として「私たちが創る みんながつながり 支え合う 福祉のまち小山」の実現を、市民、関係機関・団体と協働で推進してまいります。

1. 地域福祉の意識づくり・ひとつづくり

(予算額は、支出の部の内、事業活動による支出、施設整備等による支出から主な経費を計上)

1-1. 地域福祉について知ろう・参加しよう

事業名 1	強化 広報活動事業	事業形態	自主
		財源	会費
		予算額	2,519千円
事業目的	広報誌やSNS等を活用し、積極的な情報提供を行うことで、多くの人に福祉に関心を持ち、理解を深めてもらうことを目的とする。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社協だより「ふれあい」の発行 ・ホームページ・フェイスブックでの情報発信 ・社協ガイドの作成・PR ・ボランティアニュース等の発行 		
事業名 2	小山市社会福祉大会の開催	事業形態	自主
		財源	共同募金
		予算額	960千円
事業目的	永年にわたり社会福祉の増進に寄与された方々に感謝の意を表し、市民全体で福祉について考え、一人ひとりが活動への参加意欲を高め、福祉社会の実現を期する機会とする。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉功労者、どんぐり基金・善意銀行寄付者、ふくしの標語コンクール入賞者表彰 ・福祉活動発表、講演会の開催など 		
事業名 3	「ふくし」の標語コンクール事業	事業形態	自主
		財源	共同募金
		予算額	40千円
事業目的	地域の思いやりと福祉へ目を向けた標語を広く市民から募集し、優秀作品を様々な活動の場でPRすることで、地域福祉の意識啓発を図る。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・部門（小学生・中学生・一般）ごとに広く作品を募集 ・入賞作品を社会福祉大会で表彰し、PRする 		
事業名 4	市民リフレッシュ講座事業	事業形態	自主
		財源	共同募金
		予算額	40千円
事業目的	親しみやすく気軽に参加できる講座等を開催し、参加者の交流を図り、次の活動へつなげるステップとして生かすことで、地域福祉活動の裾野を広げていく。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講座内容・開催方法の見直し（年2回の講座開催） 		

1-2. 福祉の心を育もう

事業名 5	福祉用具貸出し・講師派遣事業	事業形態	自主
		財源	会費・共同募金
		予算額	425千円
事業目的	学校等の授業や催しの際に、福祉用具の貸出し、講師派遣の斡旋等を行い、福祉教育の推進を図る。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子、点字盤、アイマスク、白杖、高齢者疑似体験セット等の貸出し ・手話・点字等の講師派遣（登録ボランティア） 		

事業名 6	福祉教育協力校補助事業	事業形態	自主
		財源	共同募金
		予算額	680千円
事業目的	市内の小・中・高校で実施する福祉活動に補助金を交付し、児童・生徒の福祉活動を推進する。		
事業内容	・市内43校への高齢者や障がい者との交流事業、環境美化活動等への補助。		

事業名 7	小学生(親子) サマーボランティアスクール事業	事業形態	自主
		財源	共同募金
		予算額	75千円
事業目的	小学生親子を対象に、家族のふれあいを大切にしながら福祉について学び、身近な場での福祉活動の実践につなげていくことを目的とする。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ 視覚障がいについて学ぼう ・対象 小学4年生以上（親子） ・内容 講話、盲導犬との歩行訓練、点字体験など 		

事業名 8	中学生・高校生 サマーボランティアスクール事業	事業形態	自主
		財源	共同募金
		予算額	75千円
事業目的	中学生・高校生を対象に、ボランティア活動の基礎的な学習、施設での体験学習等をとらして福祉について学び実践することで、福祉の心の醸成を図る。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ 「ふくし」を体験して考えてみよう！ ・対象 高校生、中学生(2年生以上) ・内容 希望する施設での体験学習、活動発表 		

1-3. 地域福祉活動を実践しよう

事業名 9	ボランティア養成講座事業	事業形態	自主
		財源	共同募金
		予算額	512千円
事業目的	障がいのある方等と交流を図り、ノーマライゼーションの理念を具現化するために、技術ボランティアの育成を図る。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・手話・点字・朗読・要約筆記・オカリナ講座の開講 ・各サークルと協力した講座運営と、講座終了後のサークル加入の促進 		

事業名 10	強化 おやまお助け隊 (個人ボランティア)事業	事業形態	自主
		財源	会費
		予算額	8千円
事業目的	個人の特技や経験を生かしたボランティアを発掘し、たすけ合いの活動を推進するために、おやまお助け隊を組織する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・おやまお助け隊登録会員の募集・整理（個人の特技やできる活動の登録） ・定期的な情報発信による活動促進 		

事業名 11	社協ボランティアセンターの運営	事業形態	自主
		財源	どんぐり基金・会費
		予算額	600千円
事業目的	市民のボランティア活動に対する理解と関心を高め、主に暮らしや福祉に関するボランティア活動を推進するため、ボランティアセンター運営の充実を図る。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の相談・登録・斡旋・情報発信 ・ボランティア保険加入取扱い ・団体への活動場所（市保健福祉センター）の優先提供と活動支援 		

2. 地域で支え合うしくみづくり

2-1. 支え合える地域をつくろう

事業名 12	強化 コミュニティソーシャルワーク推進事業	事業形態	自主
		財源	-
		予算額	-
事業目的	多問題を抱える方への個別支援を通じた地域支援、地域の困りごとへの支援を通して、「誰もがつながる福祉のまちづくり」を推進するために、職員のスキルアップと、関係機関と連携した意識づくり・ネットワークづくりを推進する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じたワーカー（社協職員）研修の実施 ・コミュニティソーシャルワーク機能を高めるためのネットワークづくり 		

事業名 13	強化 地区社会福祉協議会の設立・活動推進	事業形態	自主
		財源	会費
		予算額	5,697千円
事業目的	地区社協未設置地区への啓発活動と設立の支援、各地区社協への活動支援の充実を図り、地域福祉活動を推進する主体を市内全地区に網羅し活動基盤の整備を図る。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・未設置地区への説明会の開催等の啓発活動の実施 ・市内8地区4支部の地区社協との連携強化と職員の担当制による支援の充実 ・地区社協連絡会議の開催 		

事業名 14	新規 生活支援体制整備事業	事業形態	委託
		財源	市委託料
		予算額	5, 535千円
事業目的	様々な関係者を構成員とする協議体を設置し、互助を基本とした生活支援・介護予防サービスが創設されるよう方向付けを行い、高齢者を支える地域の支え合いの体制づくり、地域包括ケアシステムの構築を推進する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーターの配置 連携・協働による取り組みを推進するための協議体の設置・運営 協議体における、地域ニーズ・支援の把握、地域に不足するサービスや支援の創出と資源開発、ボランティア等の担い手の育成、関係者間の情報共有・ネットワークづくり		

2-2. 地域のつながり・交流の場を広げよう

事業名 15	おもちゃ図書館の開館	事業形態	自主
		財源	会費
		予算額	109千円
事業目的	おもちゃを通して障がい児の成長と発達を支援するとともに、広く一般のこどもや保護者も含めた成長・交流の場を設けるため、おもちゃ図書館を開館する。		
事業内容	開館日：毎月第1土曜日 午前10時～午後3時 場 所：こども発達支援センターたんぼぼ園内 運 営：ボランティアグループ ピノキオ、学生ボランティアなど		

事業名 16	児童遊び場整備事業	事業形態	自主
		財源	共同募金
		予算額	200千円
事業目的	各自治会における児童の遊び場の整備に補助金を交付し、地域で子どもたちを健全に育成する環境づくりを促進する。		
事業内容	・自治会単位の小規模の遊び場に対する遊具・砂場の整備等への補助		

事業名 17	高齢者生きがい講座・サークル事業	事業形態	委託・自主
		財源	市委託料・共同募金
		予算額	1, 180千円
事業目的	60歳以上の方を対象に、生きがい講座の開講、講座終了後のサークル活動を支援し、趣味を通じた生きがいづくりを応援する。		
事業内容	・絵手紙、ガーデニング、アートフラワー、日光彫、藤手芸、折り紙、太極拳の7講座を開講		

事業名 18	ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業	事業形態	自主
		財源	共同募金
		予算額	1, 823千円
事業目的	75歳以上のひとり暮らし高齢者の方に、地域のあたたかい気持ちを伝え、日常的なふれあいを深めてもらうことを目的として実施する。		
事業内容	・老人クラブや地域ボランティア会員による月2回程度の訪問活動		

2-3. 必要な人に情報や支援をつなげよう

事業名 19	心配ごと相談事業	事業形態	委託
		財源	市委託料
		予算額	1,535千円
事業目的	生活の中で生じる諸問題や悩みごとについて、相談所を開設し、相談員が傾聴・助言を行いながら問題解決の手助けを行う。		
事業内容	開設：毎週火曜日 午前10時～午後3時（第2・第4の午前中は弁護士相談） 場所：市神鳥谷庁舎 心配ごと相談室		
事業名 20	暮らしのなんでも相談の実施	事業形態	自主
		財源	-
		予算額	-
事業目的	身近な相談ごとや、どこに相談したらよいか分からない相談を受け止め、他の専門機関につなげることも含め適切な援助を行うことで、細やかで利用しやすい相談体制づくり、福祉サービスを必要とする方への支援の充実を図る。		
事業内容	・電話・来庁・訪問による関係者と連携した相談・支援（随時）		
事業名 21	生活福祉資金貸付事業	事業形態	委託
		財源	県社協委託料
		予算額	2,743千円
事業目的	低所得・身体障がい者世帯、失業等により生活が困難な方を対象に、栃木県社会福祉協議会が主体となり行う貸付について、市民の身近な窓口となり、制度を必要とする方を支援する。		
事業内容	・総合支援、福祉・教育・小口、臨時特例つなぎ等の資金貸付に係る相談、借受の手続き、償還指導、その他必要な支援		
事業名 22	緊急生活一時資金貸付事業	事業形態	自主
		財源	返還金
		予算額	837千円
事業目的	低所得世帯で、他から借り受けることが困難な世帯に対して、一時的な生活のつなぎ資金を貸付け、世帯の経済的自立と生活意欲の向上を促す。		
事業内容	・緊急を要する世帯への生活のつなぎ資金の貸付け、償還指導。 貸付額は原則1万円で、保証人を付けた場合は2万円まで。貧困の状況にある子育て世帯には、保証人要件を緩和できる		
事業名 23	強化 緊急食料等支援事業	事業形態	自主
		財源	どんぐり基金
		予算額	550千円
事業目的	生活が困窮しており食料確保に逼迫している世帯に対して、食料を現物で提供することで、食のセイフティーネットづくりを推進し、低所得世帯の安全・安心な生活を確保する。		
事業内容	・NPO 法人 フードバンクとちぎと連携した食料支援 ・善意銀行等と連携した食料支援 ・高齢者等特に配慮を必要とする要援護者への食料支援		

事業名 24	どんぐり基金子育て応援事業	事業形態	自主
		財源	どんぐり基金
		予算額	840千円
事業目的	貧困の状況にある児童を養育する世帯に対し、どんぐり基金を活用した生活支援を行うことで、児童の安全・安心な生活を守る一助とする。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・止むを得ない事情により生計を維持できなくなった世帯への緊急の給付金支給（限度額2万円、原則1回限りの支給） ・食料の確保に逼迫している世帯への緊急の食料等購入費助成（限度額5千円、原則半年に1回までの助成） 		

事業名 25	低所得世帯入学児童支援事業	事業形態	自主
		財源	共同募金
		予算額	350千円
事業目的	小学校に入学する生活保護世帯の児童に記念品を贈ることで、児童の入学を祝う温かい気持ちを伝え、学校生活のスタートを応援する。		
事業内容	・小学校へ入学する生活保護世帯の児童へのランドセル贈呈		

事業名 26	歳末見舞金配布事業	事業形態	自主
		財源	共同募金
		予算額	8,657千円
事業目的	生活保護を受給していない低所得世帯、ひとり親世帯、高齢者世帯、障がい者世帯、準要保護世帯等の要支援世帯に対し、歳末の見舞金を配布し明るいお正月を迎える一助とする。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員児童委員による要支援世帯の調査 ・世帯人数に応じた歳末時期の見舞金配布 		

事業名 27	災害見舞金支給事業	事業形態	自主
		財源	会費
		予算額	200千円
事業目的	災害等の罹災世帯に対して、お見舞いの気持ちと生活再建の一助としていただくことを目的として、見舞金を支給する。		
事業内容	・本会、栃木県共同募金会から、小災害見舞金支給規則等に基づき見舞金を支給		

事業名 28	認可外保育施設助成事業	事業形態	自主
		財源	共同募金
		予算額	920千円
事業目的	認可外の保育施設に対し、児童への楽しい催しへの助成を行うことで、児童のより良い保育環境の確保の一助としていただく。		
事業内容	・各施設への児童数に応じた助成金の交付		

事業名 29	ひとり親家庭支援事業	事業形態	自主
		財源	共同募金
		予算額	100千円
事業目的	ひとり親家庭の親子を対象に交流事業を開催し、親子のふれあいと相互の交流の場を提供することを目的とする。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・親子ふれあいケーキづくりの開催 ・親子ふれあいバスツアーの開催 		

事業名 30	視覚障がい者への「声の広報」の発行	事業形態	自主
		財源	共同募金
		予算額	50千円
事業目的	視覚に障がいのある方に、身近な情報を音声で届けることで、障がいのある方と交流を図り、誰もが必要な情報を得ながら同じく社会生活を送ることのできる環境づくりを推進する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報おやま」「市議会だより」「警察だより」等のCDへのデイジー録音、月1回無料で送付。ボランティアグループ「郭公の会」による。 		

事業名 31	こども発達支援センター「たんぽぽ園」 児童発達支援事業	事業形態	委託
		財源	事業収益・市委託金
		予算額	58,065千円 (事業31/32/33計)
事業目的	心身障がい児と保護者を対象に、通園により日常生活の基本動作、集団生活への適応性訓練等を行い、障がい児と家族の自立を支援する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・個別・グループに分かれた療育の実施 ・言語聴覚士、作業療法士、臨床心理士による専門指導・助言 ・誕生会や季節行事の開催、就学支援 		

事業名 32	新規 こども発達支援センター「たんぽぽ園」 放課後等デイサービス事業	事業形態	自主
		財源	事業収益
		予算額	58,065千円 (事業31/32/33計)
事業目的	心身に障がいのある児童・生徒を対象に、就学後放課後の時間帯や長期休業中に、日常生活の基本動作、集団生活への適応性訓練等を行い、就学後の子どもの自立を促すとともに、放課後等の居場所づくりを行う。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生～高校生を対象とした放課後や長期休業中の療育・預かり保育の実施 ・学校等への送迎サービスの実施 		

事業名 33	相談支援事業所「さくら」事業	事業形態	自主
		財源	事業収益
		予算額	58,065千円 (事業31/32/33計)
事業目的	障がい児・者とその家族からの相談に応じるとともに、福祉サービス等の利用計画を作成し、利用者の心身の状況や環境に応じて、利用者や家族の選択に基づき適切なサービスが提供できるよう支援することで、利用者の自立した日常生活・社会生活の営みを支援する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児・者とその家族への相談業務 ・サービス等利用計画の作成、サービス提供事業者と連携した利用計画の充実 		

事業名 34	日常生活自立支援事業 (あすてらす おやま)	事業形態	委託
		財源	県社協委託金
		予算額	8,079千円
事業目的	身寄りのない方や、判断能力の不十分な高齢者・障がい者の権利を擁護し、自立した地域生活が送れるよう支援することで、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な金銭管理サービス、書類預かりサービス、福祉サービスの利用援助 ・本人の能力や生活環境に応じた相談・支援 		

事業名 35	成年後見制度利用支援事業	事業形態	委託
		財源	市委託金
		予算額	1,904千円
事業目的	成年後見制度が必要であるにも関わらず、身寄りがいない、費用を負担できない等の理由により制度を利用できないことのないよう、成年後見制度に係る相談、市長申立を含めた申立支援、後見人報酬を補助し、制度利用を支援する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度に関する相談 ・市長申立を含む申立手続きや費用助成等の支援 		

事業名 36	市民後見推進事業	事業形態	委託
		財源	市委託金
		予算額	651千円
事業目的	成年後見制度の普及・啓発を図るとともに、高齢化に伴う成年後見制度の利用者増加に備え、専門職だけではなく市民による成年後見人の育成と活動体制の構築を図り、高齢者等を地域で支える体制づくりを推進する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いつむぎノート」の普及・啓発 ・成年後見制度・市民後見人の普及・啓発、出前講座の開催 ・法人後見制度の実施機関となるための準備 		

事業名 37	強化 基幹型地域包括支援センター兼 高齢者サポートセンター小山総合の運営	事業形態	委託
		財源	事業収益・市委託金
		予算額	42,391千円
事業目的	地域の高齢者福祉の中核機関として、高齢者が住みなれた地域で尊厳ある生活を継続することができるよう支援し、市内の関係機関とのネットワークづくりを推進する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等への総合相談、権利擁護業務、介護予防ケアマネジメント業務、包括的継続的ケアマネジメント支援業務を行う。 ・基幹型として各高齢者サポートセンターの統括的業務や研修会等の実施 		

事業名 38	ホームヘルプサービス事業	事業形態	委託・自主
		財源	事業収益・市委託金
		予算額	49,445千円 (事業38/39計)
事業目的	日常生活を営むのに支障がある高齢者・障がい者に対し、ホームヘルプサービスを提供し、可能な限り地域において自立した尊厳ある生活を営むことができるよう支援する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の認定を受けた高齢者への身体介護、生活支援サービスの提供 ・障がい者への身体介護、生活支援、同行援護、移動支援サービスの提供 ・介護保険の対象とならない高齢者への家事援助、入院中の支援サービスの提供 		

事業名 39	在宅介護支援センター事業	事業形態	自主
		財源	事業収益
		予算額	49,445千円 (事業38/39計)
事業内容	地域に密着した相談窓口として関係機関と連携を図りながら、居宅サービス計画を作成し、利用者の適正なサービスの利用と地域での生活を支援する。		
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携した相談援助業務 ・介護サービス計画（ケアプラン）の作成と事業者との連絡・調整 		

事業名 40	在宅寝たきり老人等紙おむつ券給付事業	事業形態	委託・自主
		財源	市委託金・どんぐり基金
		予算額	8,146千円
事業目的	在宅の高齢者等を介護している家族等に、介護用品（紙おむつ券）を支給することにより、介護する家族の負担軽減を図り在宅介護を支援する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指定取扱い店で紙おむつと交換できる給付券（1枚1,000円）を給付 非課税世帯：年間最大12枚まで 課税世帯：年間最大5枚まで 		

事業名 41	大切な家族のための「やさしい介護教室」事業	事業形態	自主
		財源	事業収益
		予算額	50千円
事業目的	介護に悩む方や将来の介護に備えたい方を対象に、介護の基礎的な知識や技術、心構え等を学ぶ機会を設け、高齢者等が住みなれた地域で生活を継続できるよう支援する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・介護教室の開催 (着替え・清拭・おむつ交換・移乗・移動等の基礎的技術の実習、講話等) 		

事業名 42	善意銀行の運営	事業形態	自主
		財源	-
		予算額	-
事業目的	不要になった物や活動の収益で購入した物など、市民や団体等からの善意の寄付を受入れ必要とする施設や個人に払出し、助け合いの活動を推進する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民・団体・企業等からの物品の預託、希望する個人や施設等への払出し 		

2-4. 協働の輪を広げよう

事業名 43	社協会員会費募集	事業形態	自主
		財源	会費
		予算額	370千円
事業目的	より多くの市民が地域福祉活動に参加し、会員となって活動の財源を負担することで地域福祉活動を支える社協会員制度の普及・啓発を図ることで、共に福祉のまちづくりを推進する意識づくり、体制づくりを推進する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会、民生委員児童委員、職域等による会員会費の募集（6月～） 普通会員（300円）、特別会員（1,000円）、法人会員（5,000円） 		

事業名 44	共同募金運動の推進	事業形態	自主
		財源	共同募金事務費
		予算額	581 千円
事業目的	栃木県共同募金会小山市支会として共同募金運動を推進し、共同募金の助け合いの精神と、自分のまちを良くする協働の仕組みとを PR し、福祉のまちづくりを推進する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい）の募集 ・募金募集と配分事業の PR・実施 		

事業名 45	どんぐり基金(地域福祉振興基金)の造成	事業形態	自主
		財源	どんぐり基金
		予算額	112 千円
事業目的	地域福祉の充実を支える安定的な財源を確保するとともに、基金の趣旨と使われ方を PR することで、より多くの市民が地域福祉活動に関心を寄せ、活動の財源を負担する協働の仕組みを推進する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・どんぐり基金の寄付受入れ（随時）・運用 ・基金の役割や市民への還元事業の PR・実施 		

3. 安全で安心して暮らせるまちづくり

3-1. 誰もが住みやすいまちをつくろう

事業名 46	車椅子・車椅子移送車貸出事業	事業形態	自主
		財源	事業収益・会費
		予算額	100 千円
事業目的	身体機能の低下や障がい等の理由で、移動が困難な方や公共の交通機関を利用することが困難な方に、車椅子・車椅子移送車を無償で貸出し、利用者の活動範囲の拡大と社会参加、在宅生活の継続を支援する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・室内の移動、通院、外出等に車椅子が必要な方への無償貸出し（3ヶ月以内） ・公共交通機関を利用することが困難な方への車椅子移送車の貸出し（事前登録・予約制により随時貸出し。ガソリン代は自己負担。） 		

事業名 47	新規 生活支援ボランティア等の充実	事業形態	自主
		財源	-
		予算額	-
事業目的	誰もが住み慣れた地域で安心して生活し続けることができるよう、互助を基本としたボランティア等による生活支援の充実を図り、地域包括ケアのまちづくりを推進する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・有償のボランティアや会員制の家事援助サービス等の調査・研究 ・他のサービス提供団体も含めた生活支援サービスの内容・実施体制の充実 		

3-2. 災害時に助け合えるまちをつくろう

事業名 48	強化 災害ボランティア活動推進事業	事業形態	自主
		財源	共同募金
		予算額	200千円
事業目的	災害時の地域での見守りや助け合い活動、災害ボランティアセンター開設を視野に入れた災害時のボランティア活動へ備えることで、災害時に支え合える地域づくり、福祉のまちづくりを推進する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小地域単位での災害をテーマとした学習会等の開催 ・災害ボランティア養成講座の開講 ・関係機関とのネットワークづくり 		

4. 地域に根づいた法人の運営

4-1. 責任ある法人運営

事業名 49	理事会、評議員会、委員会の開催	事業形態	自主
		財源	会費
		予算額	885千円
事業目的	小山市の社会福祉協議会として、市民ニーズに基づき福祉のまちづくりを推進するとともに、公共性と透明性の高い法人運営を確保するため、理事会、評議員会、各委員会を開催する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会、評議員会の開催（6月・1月・3月） ・総務（5月・1月・3月）、事業（5月・3月）、福祉（1月）、広報委員会（5月・8月・11月・2月）の開催 		

事業名 50	内部事務の充実	事業形態	自主
		財源	会費
		予算額	71,466千円 （法人運営全般）
事業目的	本会諸規定の見直し・整備を進めるとともに、個人情報の適正な取扱いに務めるなど、内部事務の充実と適正な法人の運営を図る。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本会諸規定の見直し・整備 ・労務管理の強化 ・個人情報の適正な取扱いの周知 		

4-2. 法人運営・事業推進体制の強化

事業名 51	発展・強化プラン推進委員会の開催	事業形態	自主
		財源	会費
		予算額	65千円
事業目的	本会の策定する諸計画の進行管理、地域福祉に係る施策等の調査・研究、提言等を行い、法人運営の充実、並びに小山市の地域福祉の推進に寄与することを目的とする。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発展・強化プラン推進委員会の開催（7月・2月） 第1期小山市社協発展・強化プラン、第3期小山市地域福祉活動計画の進行管理 		

その他

事業名 52	日本赤十字社事業	事業形態	自主
		財源	社資
		予算額	3,000千円
事業目的	日本赤十字社栃木県支部小山市地区として、人道の精神に基づき、日本赤十字の活動を推進する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤十字社資の募集（6月～） ・ 赤十字活動の広報、非常災害時の救援活動（見舞金や緊急物資の支給）、青少年赤十字の活動支援、疾病予防活動や健康増進活動等の支援 		